

第 3 回

白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

日 時：平成20年7月4日（金）

13：00～15：30

場 所：深浦町サンタランド

「セミナーハウス勉強館」

次 第

1 開 会

2 東北森林管理局 計画部長 開会の挨拶

3 議 事

（1）自然再生マップ

（2）森林環境教育プログラムの作成

（3）平成20年度事業計画

（4）その他

4 津軽白神森林環境保全ふれあいセンター所長 閉会の挨拶

5 閉 会

協議会委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 業 等
あさぬませいご 浅沼晟吾	東北地域環境計画研究会 理事
いしおかれいじ 石岡玲爾	三陸森の会・弘南森の会 会長
きだたかさと 木田貴郷	青森県ユネスコ協会 理事 (津軽人文・自然科学研究会会長)
くろたきはるひこ 黒瀧晴彦	森林組合連合会 (白神山地ビジターセンター館長)
代理 須藤晃司 ささもりふみき 笹森文城	森林組合連合会 白神倶楽部 会長
しもやまひさし 下山 壽	日本山岳会 青森支部長
よしだひとし 吉田 均	青森県西北地域県民局地域農林水産部 林業振興課長
たむらさなえ 田村早苗	青森大学大学院環境科学研究科 准教授
なかはまかずお 中濱和夫	赤石川を守る会 会長
ながいかつと 永井雄人	白神山地を守る会 代表理事
にしざきさとし 西崎 哲	深浦町長
はせがわかねみ 長谷川兼己	鱒ヶ沢町長
まきたはじめ 牧田 肇	弘前大学名誉教授

(自然再生マップは、以下の実施要領に基づき発注することとしている。)

白神山地周辺地域自然再生調査に係る委託業務実施要領

1 目的

白神山地の国有林は、森林生態系保護地域に設定し、核心部の森林生態系の厳正な維持を図る保存地区とその緩衝帯の役割を果たす保全利用地区に分けて管理してきている地域と、この周辺地域でこれまでの経済活動等によって元々の姿から大きく変化したり、国定公園や県立自然公園として活用されている地域からなっている。

今日、周辺地域において、様々な主体による自然再生活動が行われており、こうした活動の成果が適切に発揮されれば、白神山地の原生的な森林生態系の保護に大きく貢献するところとなることから、多くの国民の参加による白神山地の自然特性に応じた適切な活動の推進を図ることとしている。

本調査は、森林生態系保護地域とその周辺地域が存在する部分を対象に、周辺地域の森林での自然再生活動としての施業方法、森林生態系保護地域の一体管理が可能となるまでの工程等に関する技術的な検討を行い、この地域で自然再生活動を行おうとするボランティア団体等の活動のガイドラインを作成することを目的とする。

2 調査期間

自：平成20年7月 日

至：平成21年3月13日

3 調査対象範囲

調査対象範囲は、図1に示すとおりであり、現地調査等は赤石川流域を中心として実施するものとする。

4 調査項目

- (1) 基礎調査
- (2) 森林の種類区分・整備目標の設定
- (3) 自然再生に向けた施業方法等の検討
- (4) 自然再生計画の策定
- (5) 映像情報等の作成
- (6) 検討委員会の開催

5 業務内容

- (1) 基礎調査
 - ① 既存資料調査

- (a) 森林調査簿データの整理
地位、地況、自然条件、施業履歴、雪害等被害状況等のとりまとめ
 - (b) 林況調査
航空写真等の判読による林相区分
 - (c) その他資料調査
希少動植物等分布状況等の把握
関係文献等による情報収集
- ② 現地調査
- (a) 林分構造調査
樹種の特定、胸高直径及び樹高測定、地形・地質状況、土壌状況等
 - (b) 林床植生調査
植被率(%)、種名の特定、優占度、その他
 - (c) その他
野生生物の生息状況、野生生物による被害状況、その他
- (2) 森林の種類区分及び整備目標の設定
- ① 森林の種類区分
林冠を構成する樹種、立地条件、下層植生等その他基礎調査の成果に基づき森林の種類区分を行う。
 - ② 整備目標の設定
森林の種類区分毎に将来に実現すべき森林の姿を設定する。
- (3) 自然再生に向けた施業等の検討
- ① 施業実施
整備目標に基づき、箇所ごとに具体的な施業方法、作業の難易度(作業者のレベル)、施業面積、施業スケジュール等を検討する。
 - ② モニタリング
施業実施箇所のモニタリングに必要な項目、実施頻度等を検討する。
- (4) 自然再生計画の策定
- (1)から(3)までの成果をとりまとめ、自然再生計画を策定する。あわせて、衛星画像、林・小班図等の既存情報や基礎調査地点位置、森林種類区分等をGIS化し、自然再生計画の内容をデータベース化して、GISデータファイルを作成する。
- (5) 映像情報等の作成
- ① 三次元衛星画像等の作成
当局が保有するイコノス衛星画像等を活用し、自然再生事業に取り組もうとする者が自らが行う施業の効果をビジュアルに認識できるよう画像を作成する。
 - ② 全天空画像データの取得・表示

当該地域におけるブナ林内やスギ人工林内の林内状況を、多くの国民の白神山地に対する関心を高め、自然再生活動に参加するキッカケを創出するため、全天空画像データ(任意方向の画像が表示可能なデータ)を取得し表示する。

③ パンフレットの作成

地域住民、自然再生活動に関心を有するボランティア団体等を対象に自然再生活動の展開方向等をわかりやすく解説するパンフレットを作成する。

(6) 検討委員会の開催

技術・専門的な助言を得るために、学識経験者で構成される検討委員会を設置し、検討委員会を開催する。

6 報告書の作成

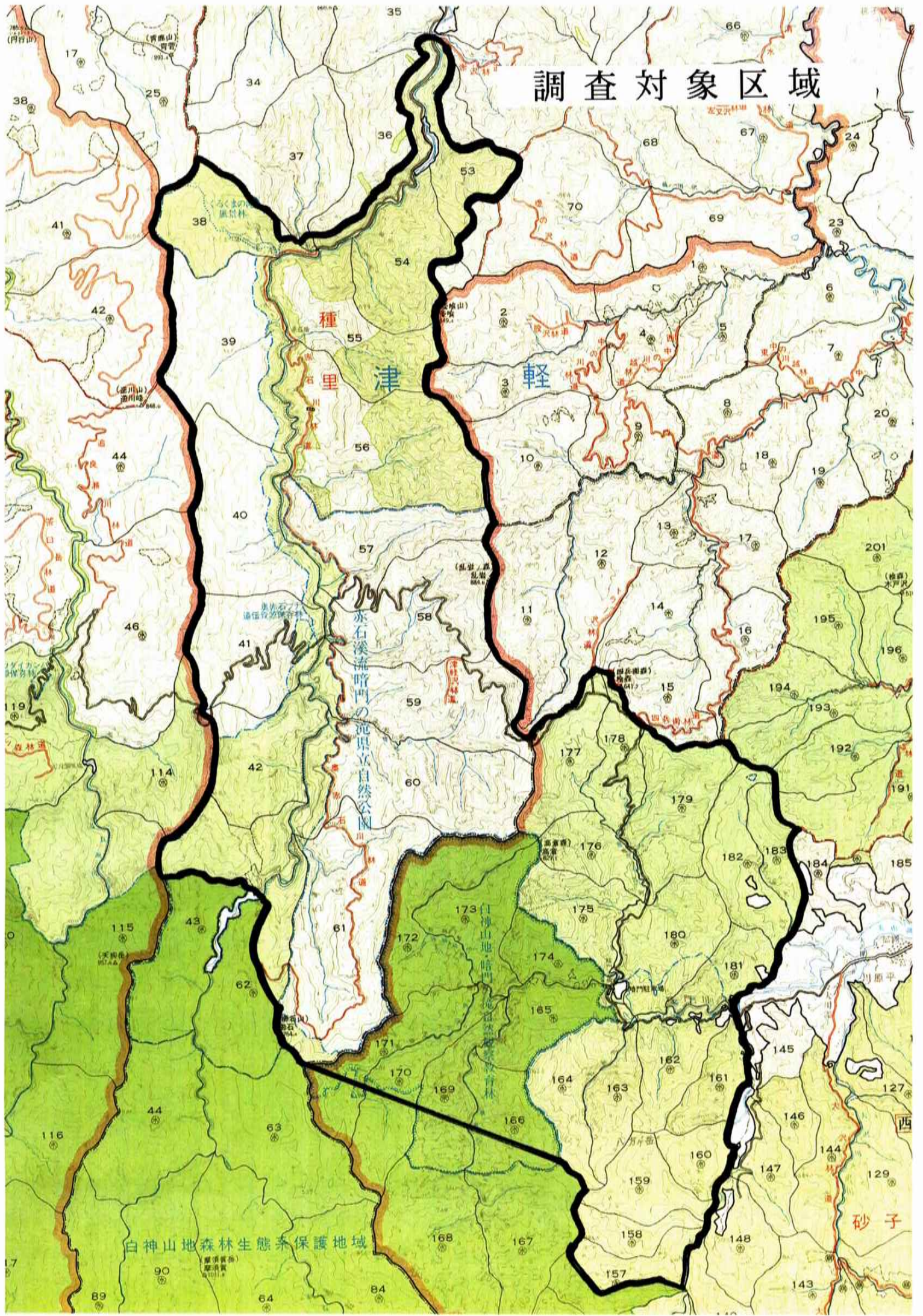
以下の報告書等を、平成21年3月13日までに東北森林管理局へ提出する。

- | | |
|------------------------------|--------|
| ① 調査報告書 | 3 部 |
| 現地調査票、現地写真、検討委員会資料、検討委員会議事録 | |
| ② 自然再生計画書 | 30 部 |
| ③ 報告書電子データ | 一式 |
| GISデータファイルを含む | |
| ④ 自然再生事業映像情報 | 一式 |
| 三次元衛星画像データ、全天空画像データ | |
| ⑤ パンフレット | 2,000部 |
| 成果品のPDFファイルを作成し、CD-Rに書き込みも含む | |

7 その他

本調査の実施に当たっては、受託者は、東北森林管理局と緊密な打ち合わせの上、業務を行うものとする。

調査対象区域



種津川

軽津川

砂子

赤石溪流暗門の滝県立自然公園

白神山地森林生態系保護地域

西

平成20年度の主な事業予定

① 自然再生活動

- ◎ 白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会における「自然再生マップ」作成
- ◎ 各ボランティア団体の体験林業等における技術・安全指導の実施
- ◎ ボランティア団体との意見交換会に加え、「体験林業実施要領」の定着を図る

② 森林環境教育等の推進

- ◎ 森林教室の開催（各学校へ個別訪問・広報誌及びHPによる呼びかけ・ふれあいセンター活動展を実施して森林教室のPRなど）
- ◎ 自然観察会の計画的な開催（別表のとおり）



- ◎ 遊々の森での地元ボランティア団体とともに、地元小学校を中心とした体験学習等の実施



- ◎ ふれあいセンター活動展の開催



- ◎ 地元等の関係団体との相互の資質向上と信頼・連携を深めるための現地研修会の実施



- ◎ インターンシップの実施（岩手・信州大学生の体験就業を受け入れて実施する）

③ 森林生態系保護地域の保全管理

- ◎ ボランティア巡視員及びグリーン・サポート・スタッフ、森林管理署巡視員との連携による巡視活動
- ◎ 白神山地合同パトロールの実施

④ 希少野生動植物の保護

- ◎ クマゲラ生態調査（監視カメラによる営巣の撮影）

⑤ 松くい虫被害対策

- ◎ 民・国一体となって取り組んでいる防除帯のクロマツ伐採跡地の記念植樹への支援・協力



平成20年度自然観察会の計画

第1回

イベント名	『新緑のブナ林で森林の妖精と神祕の湖沼を巡る』
実施日	平成20年5月18日（日）
実施場所	深浦町 十二湖自然休養林
参加人員・参加費	19名 2,000円（バス代・保険料）

第4回

イベント名	東北森林管理局 緑の山歩塾 『雄大なる名瀑観賞と紅葉の広葉樹林を巡る！』（仮称）
実施日	平成20年10月18日（土）
実施場所	くろくまの滝 津軽峠外
募集人員・参加費	40名 3,000円（バス代・保険料）

第2回

イベント名	『初夏の花の湿原で植物・野鳥観察と自然の造形美を巡る』
実施日	平成20年6月14日（土）
実施場所	ベンセ湿原・小泊海岸外
募集人員・参加費	20名 2,000円（バス代・保険料）



第3回

イベント名	『白神山地周辺の森の巨人と触れる』
実施日	平成20年9月13日（土）
実施場所	鱒ヶ沢町・深浦町外
募集人員・参加費	20名 2,000円（バス代・保険料）

本年度第1回自然観察会の様子

